



## ☆会長あいさつ☆

10月20日(土)に行われました音楽コンクール・文化祭。

どの学年もどのクラスも当日まで頑張ってきた成果が存分に発揮されていて、素晴らしいハーモニーが奏でられ、とても感動しました。放送部の「寿限無」も楽しかったですし、生徒会の演劇はとても大事なことを教えてもらったように感じました。そして、吹奏楽部による演奏も素晴らしく、3年生の涙に胸が熱くなりました。展示の部では初の試みとして、保護者の方々にも出品をお願いいたしましたところ、多数の作品を展示させていただきました。本当にありがとうございました。

11月に入り、これから本格的に寒い季節になってくると思います。風邪、インフルエンザが流行っていくことも心配されますので、体調管理もしっかり気をつけましょう。

## ☆校長先生のお話☆

10月20日(土)に行われた音楽コンクール・文化祭はいかがでしたでしょうか?音楽コンクールでは今年度初めて課題曲・自由曲の2曲を歌うことを試みました。同じ練習時間で2曲を完成させることは難しい面もあったとは思いますが、各クラスのリーダーが牽引して取り組んでくれたお蔭で、成功裏に終わることができました。3年生の中には、演技中、感極まって涙する生徒も見られ、最上級生の思いが一杯つまった文化祭になったことを心から嬉しく思います。

PTAの方々におかれましては、文化祭当日の受付や仲よし学級の作品販売、パイプ椅子の後片付け、PTA作品の応募等、たくさんのサポートをしていただきありがとうございました。引き続きPTA活動へのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## ☆主な行事予定☆



11/28(水)～30(金) 期末テスト

11/30(金) 小6部活動体験

12/1(土) 神戸っ子いじめ防止広域キャンペーン

12/17(月)～20(木) 全学年個別保護者会

12/25(火) 終業式

## ☆各学年の様子☆

### 1年生

音楽コンクールでは、毎日各クラスのパートリーダーを中心に懸命に励む姿が印象的で、本番ではクラスの色が現れた歌声が聴けました。学年合唱では、40回生らしいまろやかな「COSMOS」が体育館に響き渡りました。月末には期末考査があります。「授業に取り組む姿勢」「家庭学習の徹底」など、当たり前のことをもう一度見直していきたいと考えています。よろしくお願いします。

### 2年生

11月5日から9日までの五日間トライやる・ウィークに参加しました。子供たちも普段とは違い大きな声であいさつをしたり、自分から進んで仕事をしたりとがんばっていました。学校とは違う生き生きとした姿が見られたり、中には同じ事業所になったことで友達ができたといい子もいました。トライやる・ウィークは、中学2年生にとってとても大切な行事です。地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、無事に終わることができました。たいへん感謝しております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 3年生

文化祭では、展示や舞台をたくさんの方に鑑賞していただき、ありがとうございました。クラスや学年の合唱等を通して、38回生の成長した姿を示すことができたと思います。本当に素晴らしいものでした。いよいよこれから進路実現に向けての取組が本格化していきます。思うように進むことばかりではないと思います。学校とご家庭と力を合わせて支援していけたらと思います。よろしくお願いします。

- 【文化部】 ・文化祭では、制服リユースを利用していただきありがとうございました。引き続き受付BOXを玄関に設置しています。ご協力をお願いします。
- 【愛護部】 ・あいさつ運動が寒くなる季節がやってきました。いつも参加してくださる保護者の皆様、ありがとうございます。事前に申し込んでいなくても参加可能ですので、お時間の許す方はご参加お待ちしております。
- 【全学年】 ・花一輪の活動に参加していただく方、よろしくお願いします。
- 【会計】 ・前期の会計監査を10/15（月）に実施しました。
- 【その他】 ・日本PTA全国協議会 近畿ブロック大会に参加しました。（堺、加藤、命婦）

## 校長の独り言

校長 堀口和則

### 「間違った噂話」

文化祭も終わり、3年生はいよいよ進路決定に向けて一直線に進まなければならない時期がやってまいりました。保護者の皆様方におかれましては、これからお子様と進路先について話をする機会が増えることと思います。しかしながら、時々間違った噂や情報が保護者の間でまことしやかに広がり、それを信じてしまうご家庭がありますので、ご注意くださいと思います。

その1：「あの高校は不良が多い。」

これはよく保護者の間で広がりやすい噂のひとつです。服装や生活態度の乱れたごく一部の生徒の軽率な行動で学校の評判を落としてしまう高校はよくあります。どこの学校にも多かれ少なかれそのような生徒はいるものです。自分の目で確かめもせずに、その学校への受験を断念するのは早計と言えるでしょう。

その2：「先生に個別懇談で合格の可能性について五分五分と言われたらまず間違いなく合格する。」

結果が合格であれば、知人に合格したことを吹聴して回る方はいらっしゃるかもしれませんが、不合格の結果を吹聴して回る方は皆無と言えるでしょう。その結果、「五分五分は受かる。」という話が広まったと思われる。

その3：「私学一本の受験者がほとんど合格するのと同様、公立一本の受検者もまず落とされることはない。」

私学の場合は専願受験を点数的に有利に扱う学校が多いので、確かに不合格者は出にくいですが、公立の場合は、公立しか受検しないからと言って有利になることは一切ありません。公立の願書にも調査書にも私学の受験の有無を記載する欄はありません。公立の高校が公立1本の受検者を優遇することはあり得ないことです。

その4：「高専の推薦は各学科それぞれの中学校に1名の合格枠しかない。」

これも全く根拠のない間違った噂話です。高専は各中学校からの受検者が少ないため、確かに毎年各学科合格者は1名ぐらいにとどまっているかもしれませんが、各中学校に合格者の人数が割り当てられていることは絶対ありません。誤った判断で進路選択をされないように気を付けてください。

私が知る限りの保護者の間に広まった進路に関する間違った噂話を紹介させていただきました。進路に関する事で何か分からないことやご質問があれば、遠慮なく担任までご相談いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。



これはある相談で中学生をお持ちのお母様がおっしゃったことです。お子さんのことで相談に来られたのですが、話が進んでいくうちにご家庭のことが話題になりました。お父様は家事や子育てに協力的ではあるのですが、あくまでも帰宅後やお休みの日だけのことだそうです。ただ、よくよくお話を聞いてみますと、お母様もフルタイムのお仕事をお持ちですが、近くに住む夫の母の支援もしないとならないそうです。平日は、ヘルパーさんにも来てもらっており、それほど大変なこともないそうですが、毎月の通院や施設に入所している夫の父の面会に連れて行くのも仕事とのことでした。「実を言うと」と言いながら、ご自分の両親もだいぶ老いが進んできて、介護が必要になる日も遠くないとおっしゃっていました。お仕事も時々休まなければならないことがあり、あるチームリーダーを任されているだけに、仕事に穴をあけることに申し訳なさがつきまわっているようです。このお話をうかがって、正直困りました。私のできることはお話を聞くことだけで、家庭には入っていきません。このあたり、いつもカウンセリングの非力さを感じてしまいます。



「なぜ私だけが・・・」というのはこの方だけにあてはまることではないようです。今中学生をお持ちのお母様の平均的な初産年齢は30歳ですので、お子さんが中学生の時にはお母様は42~45歳になるかと思えます（もちろん、出産時の年齢は異なりますので、みなさんがそういう訳ではありません）。また、閉経の前後5年間を更年期と呼び、40歳頃から女性ホルモンであるエストロゲンの分泌が徐々に減ってきますので、ホットフラッシュなど自律神経系の不調が現れてきます。他方、お母様方のご両親の年齢を30歳差と考えますと、72~75歳になります。現在の健康寿命(他人の援助を借りることなく、自立して生活できる年齢の上限)が男性72歳、女性75歳ですので、徐々にご両親の支援も必要になってきます。このように見ていきますと、お子様の思春期は、お子さん、お母様ご自身、ご自分たちの両親の3世代がみなさんの発達の移り変わりにあることがわかります。特に、お母様はご自分の体の変化やお仕事上の役割だけでも大変な上に、お子様のこと、ご両親のことにも目を向けることが期待されがちです。

これが「なぜ私だけが・・・」の心理学での説明です。どうすればよいかはご家庭で異なると思いますが、やはり男性(私も含めてですが)はパートナーの現実を知り、一緒に向き合うこと、具体的な支援ができなくても、パートナーが弱音を吐ける場所を提供し、安易な励ましをせず、そこで出された気持ちを自分の問題としてきちんと受け止めること、が大切かと思えます。

これ以降、2学期は11月22日、12月6日、13日、20日(いずれも木曜)の9:30~17:00にご相談を承ります。事前予約は長井教頭先生(078-791-8444)に、当日予約はS C(090-5971-0637)にお願いします。